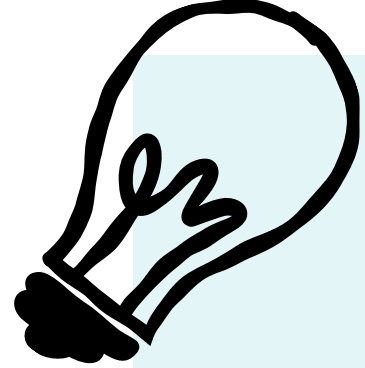




第9回 尼崎市学びと育ち研究所報告会

データでひらく、こどもの未来

未来の教育へ一歩ずつ

子どもたちの学びや成長を科学的に探究する研究者が、その成果を発表します。この会が、教育現場の課題と研究の成果をつなぐ対話の第一歩となることを目指しています。

未来の教育を共に考えるきっかけを、ぜひ一緒に。

8/25(火)13:00～15:40

①現地参加

小田南生涯学習プラザ

②

②

WEB 参加

(尼崎市長洲中通1丁目6-10 JR尼崎駅より徒歩5分)

13:00 ～研究発表

14:50 ～対談

■「教育環境が学力・非認知能力に与える影響」

大竹 文雄 所長

(大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授)

■「子どもを対象とした行政・教育サービスの利用実態・政策効果の検証」

安藤 道人 主席研究員

(立教大学 経済学部 教授)

■「乳幼児期の社会情動的スキルの育ちと架け橋期教育」

北野 幸子 主席研究員

(神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授)

■「尼崎市における「力のある学校」の探究——社会的条件を加味した学校効果の検証」

知念 渉 主席研究員

(大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授)

■「周産期から幼児期までの状況が発達や学力の向上に与える影響」

西山 将広 主席研究員

(神戸大学大学院 医学研究科 特命准教授)

■「尼崎市におけるヤングケアラーの実態調査と課題解決に向けた手法の検討」

濱島 淑恵 主席研究員

(大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 教授)

■「妊娠期からの家庭・教育・社会環境と子どもの学力・健康：保護的要因とリスク要因に関する包括的検討」

中室 牧子 主席研究員

(慶應義塾大学 総合政策学部 教授)

藤澤 啓子 主席研究員

(慶應義塾大学 文学部 教授)

対談テーマ

「教育データは、こどもの未来をどう支えるか」

【ゲスト】



&



■国立教育政策研究所
所長代理 大野彰子氏

■尼崎市学びと育ち研究所
所長 大竹文雄氏

【ゲストプロフィール】

文部科学省で国際教育行政や調査統計業務を担当、国立教育政策研究所にて教育データサイエンスセンター長、OECD-PISA調査運営理事会理事・副議長などを歴任し、国の教育政策を支える調査研究を推進しています。

参加費：無料

定員：70人

要申込：QRコードから⇒



参加申込



当日WEB配信